

新型コロナウイルス蔓延を防ぐための東北大学の対応

新型コロナウイルスによる感染症が日本も含めて世界各地に広がりつつあります。東北大学では、「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を設置し、本学の感染症専門家の助言などに基づき、安全安心な教育研究の環境を確保すべく全学的に各種の対策をとっています。具体的には、入学式の中止、授業開始日の変更と遠隔授業の実施、教職員・学生の不要不急の移動の自粛、本学主催イベント中止または延期、さらに、時差出勤やテレワークをはじめとする柔軟な就業の取り扱いなどの措置をとっており、今後も事態の推移に迅速に対応してまいります。また、大学病院では今後の重症患者受入を見据え、院内の感染対策を強化しています。

いま、国内での感染拡大を最小限に抑える非常に重要な時期を迎えています。「社会とともにある」大学として、東北大学は国内外の関係者、関係機関とも連携し、新型コロナウイルス感染症の抑制と制圧に最大限の努力を続けてまいります。

令和2年3月30日

東北大学総長 大野 英男